令和4年度　後期　「渋谷開講科目」　追試験
試験日：2月7日（火）　教室：5201教室

※試験開始15分前までに入室すること。学生証を必ず持参すること。
※通常の開講時間帯と追試験時間帯が異なる場合がありますので、ご注意ください。

追試時限	追試時間	開講曜時	科目名称	教員氏名	披見可否	披見内容
2限	11：10～12：10	月3	医事法	廣瀬　美佳	持込可	全て(電子機器類を含む)。
		水6	宗教学Ⅱ	遠藤　潤	持込可	すべて。ただし、PC、タブレット、電子辞書、電子文具、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）をのぞく。
		月4	民事訴訟法ⅠB	佐古田　真紀子	不可	
		月4	神道史学ⅠB	小林　宣彦	不可	
		月5	中国語演習Ⅰ（1）	呉　鴻春	不可	
		火4	漢文学概説	長谷川　清貴	不可	
		火4	憲法ⅡB	大江　一平	不可	
		火4	法哲学B	登尾　章	不可	
		水2	宗教社会学Ⅱ	大道　晴香	不可	
		木2	民法・債権各論A	佐藤　秀勝	不可	
		木4	コリア語Ⅱ	李　英　珠	不可	
		木6	刑事手続法概論	中川　孝博	不可	
		金2	教育の原理	岩本　俊一	不可	
		金2	現代の政治	藤嶋　亮	不可	
		金4	中国語演習Ⅰ（1）	呉　鴻春	不可	
3限	13：20～14：20	木1	図書館サービス概論	新藤　透	持込可	配信したPowerPointをプリントアウトしたもの。ノート。
		金7	神道概論Ⅱ	齊藤　智朗	持込可	すべて可※ただし試験中にメールやSNSなどの通信手段を利用して教室内外の者と連絡を取り合うこと、また撮影をすることは不正行為とする。
		月3	唐宋詩文演習	澤﨑　久和	不可	
		火1	民事手続法概論	佐古田　真紀子	不可	
		火2	情報サービス演習Ⅱ（2）	青木　仕	不可	
		火5	中国古典読法Ⅱ	長谷川　清貴	不可	
		木2	フランス語Ⅱ	佐藤　千明	不可	
		木4	民事手続法概論	大江　毅	不可	
		金5	日本語学概論Ⅱ	林　謙太郎	不可	
4限	15：00～16：00	火1	中国人文学概説	青木　洋司	持込可	教科書・プリント・ノート（コピー不可・ノートは手書きに限る）。
		火4	情報資源組織演習Ⅱ（2）	森　智彦	持込可	全て（ノートPCやタブレット、スマートフォンの使用も可）、ＮＤＣ１０版が必要（文学部資料室で事前に借りること）。
		火4	伝承文学概説Ⅱ	小川　直之	持込可	テキスト、ノート、配付資料。
		木2	犯罪学B	安田　恵美	持込可	紙媒体のみ（PC,タブレットの電子機器の持込は不可）。本授業に関係のない紙媒体を持ち込み、試験中に閲覧している場合には不正行為とみなします。
		水1	フランス語Ⅱ	西川　純子	不可	
		水2	フランス語Ⅳ	西川　純子	不可	
		木2	刑法各論Ⅱ	甘利　航司	不可	
		木2	世界経済入門	細井　長	不可	
		木4	中国語Ⅱ	本間　由香利	不可	
		金2	憲法ⅠA	平地　秀哉	不可	
5限	16：40～17：40	火3	宗教学Ⅱ	石井　研士	持込可	すべて。
		火4	中国民俗文化概説	浅野　春二	持込可	すべて。ただし紙媒体に限る。
		水3	有職故実Ⅱ	中込　律子	持込可	配布資料とノート。
		金4	西洋哲学史ⅠB	木原　志乃	持込可	授業内で配布したプリント、ノートのみ可とする（電子辞書、通信機能のついた電子機器類、書籍等の持ち込みは不可）。
		火2	経営入門	星野　広和	不可	
		火2	西洋地域史Ⅱ	白川　耕一	不可	
		木3	漢文学講読Ⅱ	宮内　克浩	不可	
		木6	漢文学概説	長谷川　清貴	不可	

令和4年度　後期　「渋谷開講科目」　追試験
試験日：2月7日（火）　教室：CP教室5

※試験開始15分前までに入室すること。学生証を必ず持参すること。
※通常の開講時間帯と追試験時間帯が異なる場合がありますので、ご注意ください。

追試時限	追試時間	開講曜時	科目名称	教員氏名	披見可否	披見内容
3限	13：20～14：20	月2	コンピュータと情報Ⅰ	木野　富士男	不可	
		月3	コンピュータと情報Ⅰ	落合　由美子	不可	
		火4	コンピュータと情報Ⅰ	木野　富士男	不可	
		木4	コンピュータと情報Ⅰ	池田　康子	不可	
		金3	コンピュータと情報Ⅰ	久留主　みゆき	不可	
		金4	コンピュータと情報Ⅰ	落合　由美子	不可	

令和4年度　後期　「渋谷開講科目」　追試験

試験日：2月8日（水）　教室：5201教室

※試験開始15分前までに入室すること。学生証を必ず持参すること。

※通常の開講時間帯と追試験時間帯が異なる場合がありますので、ご注意ください。

追試時限	追試時間	開講曜時	科目名称	教員氏名	披見可否	披見内容
2限	11：10～12：10	月1	民事訴訟法ⅠB	大江　毅	持込可	すべての物（電子機器を含む）の持込・披見を許可する。ただし、カメラ機能の使用は、許可しない。
		火3	（専）民事訴訟法ⅠB	大江　毅	持込可	すべての物（電子機器を含む）の持込・披見を許可する。ただし、カメラ機能の使用は、許可しない。
		火4	英語文献演習ⅠB	福井　崇史	持込可	辞書（電子/紙媒体いずれも）持ち込み可能。
		水1	税法B	高橋　紀充	持込可	教科書、レジュメ、ノートの持ち込み可。メッセージ通信が可能な機器であるスマートフォン、ウェアラブル端末、その他の電子機器の利用は一切認めず、机上に置くことも禁ずる。
		月3	古典講読ⅡB	小林　宣彦	不可	
		月6	古典講読ⅡB	小林　宣彦	不可	
		月7	データ・リテラシー	岡田　長治	不可	
		水1	神道概論	西岡　和彦	不可	
		水2	中国語Ⅱ	木下　光弘	不可	
		水2	英米語概論Ⅱ	水口　学	不可	
		木2	民法・債権各論A	岡田　康夫	不可	
		金1	英語演習ⅡB	水口　学	不可	**※5202教室で実施**
		金3	入門コリア語	富所　明秀	不可	
		金4	マーケティングリサーチ	芳賀　英明	不可	
3限	13：20～14：20	月4	会計入門	東海林　孝一	持込可	文書保存機能、通信機能のない電卓のみ持ち込み可。
		木3	情報サービス論	川瀬　康子	持込可	配付資料、ノート。
		木4	神社実務演習	宮澤　佳廣	持込可	ノート、配布プリント、教科書。
		金3	原価計算	東海林　孝一	持込可	文書保存機能、通信機能のない電卓のみ持ち込み可。
		金3	日本文学概論Ⅱ	笹川　勲	持込可	ノート。
		金5	日本時代史Ⅱ	佐藤　長門	持込可	授業時に配布したレジュメ、およびノート。
		月4	経済理論入門	細谷　圭	不可	
		火4	英語文献演習ⅠB	上石田　麗子	不可	
		火5	法学（日本国憲法）	山崎　英壽	不可	
		水2	國學院の学び（渋谷学）	手塚　雄太	不可	
		水2	英文法B	岩瀬　由佳	不可	
		水3	中国語Ⅳ	木下　光弘	不可	
		金1	西洋政治史B	藤嶋　亮	不可	
		金1	憲法ⅠA	平地　秀哉	不可	
		金2	英文法B	水口　学	不可	
4限	15：00～16：00	月2	簿記の基礎	中田　有祐	持込可	通信機能のない電卓のみ可。
		月3	地域と都市の経済	山本　健太	持込可	講義ノート。
		火6	法と社会参加（暮しの中の法律実務）	森田　聡	持込可	すべて（但し、電子機器類は含まない）。
		木4	アメリカの政治	西住　祐亮	持込可	電子機器は持込不可（パソコン、スマホ等）。それ以外は原則すべて持込可（スライド資料のコピー、ノート、新聞の切り抜き、参考書等）。
		木7	神道思想史学Ⅱ	遠藤　潤	持込可	すべて。ただし、PC、タブレット、電子辞書、電子文具、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）をのぞく。
		金4	図書館情報技術論	山本　昭	持込可	通信できる機器は不可。
		火5	基礎法律学Ⅰ（憲法B）	福岡　英明	不可	
		水4	入門コリア語	金　広植	不可	
		木1	（専）会社法ⅠB	若林　泰伸	不可	
		木2	ドイツ語Ⅳ	中野　有希子	不可	
		金2	教育の原理	岩本　俊一	不可	
		金2	神道神学	西岡　和彦	不可	
		金3	中国語Ⅱ	馬場　将三	不可	
5限	16：40～17：40	火2	古文書学Ⅱ	平野　明夫	持込可	すべて。
		火2	社会運動論	和田　悠	持込可	すべて。
		火3	簿記の基礎	福島　隆	持込可	電卓のみ（通信機能付きの機種、および電子辞書が内蔵されている機種は認めない）。
		水1	国際私法B	伊藤　敬也	持込可	すべて（紙媒体のみ）。
		金1	情報資源組織演習Ⅰ（2）	須永　和之	持込可	電子・通信機器以外、すべて。
		金4	祭祀学	加瀬　直弥	持込可	教科書・配布資料・ノート。
		金6	日本文化を知る（日本中世の人間と宗教）	横田　光雄	持込可	ノート、授業時配布資料。
		火4	（専）法的思考B	登尾　章	不可	
		金2	行政学B	羅　芝賢	不可	
		金3	英語文献演習ⅡB	水口　学	不可	
		金4	フランス語演習ⅠB	笠間　直穂子	不可	
		土1	中国語演習ⅠB	針谷　壮一	不可	
		土2	中国文学概説	宮内　克浩	不可	